

超高齢社会を迎えて新たな価値を創造できるバリュークリエーターの育成 ～2025 (H37) 年を支える地域福祉におけるリーダー的存在へ～

スペシャリストから
プロフェッショナルへ

大阪市立淀商業高等学校 福祉ボランティア科

I. 専門性 (介護福祉士) の強化

① ICTを活用した
介護技術・知識の向上



② 認知症ケアのための
コミュニケーション技術



連携：関西福祉科学大学・
公認日本バリテーション協会

2025年の日本社会を 支える人材へ



③ 医療的ケアに関する
知識・技術の向上



④ 社会起業家等による
特別授業



連携：NPO法人など

⑤ 福祉用具を活用した
利用者の自立支援



連携：京都女子大学

⑥ 国際的な視野による
日本の介護について検証



連携：海外産業人材育成協会

II. 専門分野との共創・発信

① 大学・社協
との共創

小中学生へ福祉マインドの育成

連携： 関西大学・同志社大学
大阪市社会福祉協議会
大阪市西淀川区社会福祉協議会



② 企業・社協・
福祉施設との共創

健康寿命の延伸に向けて
介護予防体操の実施

連携：株式会社 第一興商
大阪市社会福祉協議会
大阪市西淀川区社会福祉協議会



③ 企業・福祉施設
との共創

介護ロボットを活用した
自立支援について考える

連携：ピップ&ウィズ株式会社
株式会社ニチイ学館



●社会的背景

★世界に類を見ない

超高齢社会の到来

2025 (H37) 年 団塊の世代が75歳以上の
後期高齢者へ (4人に1人が75歳以上)

迫りくる地域福祉問題解決に向けた 新たな価値を創造 地域社会へ提案・発信

●研究内容

I. 介護福祉士としての専門性の強化

II. 地域社会と繋がりをもつ福祉実践教育
～地域福祉の課題に向けた専門分野との共創～